

## 平成27年度第5回政策会議概要

1 開催日時:平成27年7月14日(火)9:30~10:00

2 開催場所:プレゼンテーションルーム

3 議事概要:以下のとおり

(●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問)

### 議題1 知事会議の開催結果について

#### ●笠谷課長【政策提言・広域連携課】(資料1に基づき説明)

5月から6月にかけて開催された知事会議の結果を報告する。

5月23日に岡山県で「日本創生のための将来世代応援知事同盟サミット in おかやま」が開催された。東京への一極集中の流れを変え、若い世代が希望をかなえられる社会を実現するため行動していくこととしたキックオフ宣言を行ったほか、知事全員がイクボスとなり県庁から変える、女性の登用や男性の働き方の変革を求めること等を内容とした「おかやま声明」を発表した。

5月28日に京都市内で近畿ブロック知事会議が開催され、「地方一般財源の総額確保」、「『地方目線』の少子化対策」等のほか、当日、本県から緊急提案した「教職員定数の維持」も含め、国に提言していくこととした。

6月2日に福井県で中部圏知事会議が開催された。(年2回開催されるうち)本年度から、春に開催される同会議では国への提言について集中的に議論することとなり、当日は、本県から緊急提案した教職員定数の維持に関する項目を含め、各県市から提案された項目について国に提言していくこととした。

(質疑等なし)

### 議題2 ワーク・ライフ・マネジメントの推進について

#### ●中野課長【行財政改革推進課】(資料2に基づき説明)

平成26年度ワーク・ライフ・マネジメントの実績については、組織マネジメントとして進めた結果、目標を上回る超長時間勤務者の削減や高止まりしていた時間外勤務時間の削減など、おおむね順調に進んだ。一方で、実効性のあるマネジメントや業務量のスクラップアンドビルドといった課題も見受けられる。取組の趣旨、目的等の浸透が不十分な点もあり、さらなる推進に向けてご協力をお願いしたい。

平成31年度の目標に向けた今年度の目標としては、全部局を積み上げると、時間外勤務時間数は191時間(H31時点目標:154時間)、超長時間勤務者数は187人(H27目標:236人)、年休取得時間数は113時間(H31時点目標:115時間)となっている。

今年度も、労使協働セミナーにおける啓発や朝型勤務の実施を通じて、ワーク・ライフ・マネジメントの推進を図っていく。

☆植田副知事

朝型勤務について、部局長も率先した取得を検討していただきたい。

### 議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

#### ●竹内戦略企画部長(資料3に基づき説明)

資料3の「県民の声を受けて」公表分の概要であるが、5月18日、6月1日、6月16日及び7月1日付けの県ホームページ公表分については、県民の声の件数は52件で、県の対応件数は56件であった。

3の主な内容としては、(1)の職員に関するものとして、職員のサービスや行動についての提案意見や苦情が6件、職員の喫煙や服装についての苦情が6件、交通事故相談についての御礼が1件寄せられている。

また、(2)の「県民の声を受けて実施した案件で、業務の改善等へ反映したものとしては、プレミアム旅行券についての提案意見への対応と、職員の行動についての苦情への対応があった

なお、滋賀県多賀町で発生したクマによる加害事故の件については、多くの声が寄せられているが、状況の変化等を踏まえて、現在、担当の農林水産部において対応を進めていただいているところである。

各部局においては、内容をよく確認し、適切な対応をお願いしたい。

(質疑等なし)